

製品名: RAB11A マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86004**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:500
分子量	24.4kDa

抗原情報

遺伝子名	RAB11A
別名	Ras-related protein Rab-11A, Rab-11, YL8, RAB11A, RAB11
遺伝子 ID	8766.0
SwissProt ID	P62491
免疫原	この RAB11A 抗体は、ヒト RAB11A の精製された組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

背景

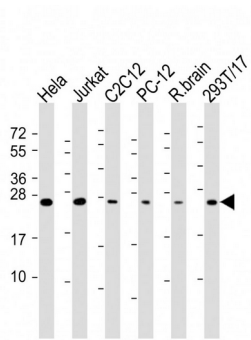
低分子 GTPase Rab は、輸送小胞の形成から膜との融合まで、細胞内膜輸送の主要な制御因子です。Rab は、不活性な GDP 結合型と

活性化 GTP 結合型の間を循環します。活性化 GTP 結合型は、小胞の形成、移動、係留、融合を直接担うさまざまな下流エフェクターを膜にリクルートできます。Rab はエンドサイトーシスによるリサイクリングを制御します。細胞質分裂中の膜送達の主要な制御因子として機能します。MYO5B および RAB8A とともに、上皮細胞の分極に関与します。RAB3IP、RAB8A、エキソサイトーシス複合体、PARD3、PRKCI、ANXA2、CDC42、および DNMBP とともに、PODXL の頂端膜開始部位 (AMIS) へのトランスサイトーシス、頂端表面の形成、および内腔形成を促進します。MYO5B とともに、CFTR の細胞膜への輸送と非分極細胞における TF (トランスフェリン) のリサイクリングに関与します。MYO5B および RAB11FIP2 との複合体を形成し、NPC1L1 を細胞膜へ輸送するために必要である。CDH1 のゴルジ体から細胞膜への選別および基底外側輸送に関与する。FCGRT (単量体 IgG の Fc 領域受容体) の基底外側膜へのリサイクルを制御する。メラノサイトからのメラノソームの輸送および放出にも関与する可能性がある。

研究分野

-

画像データ



全レーン: 抗 RAB11A 抗体 (1:4000 希釈)